

新型コロナウイルス感染症の影響 を踏まえた火災予防について

新型コロナウイルス感染症の影響により、臨時休業や在宅勤務等の導入、休校措置など、事業形態や生活形態に大きな変化が起きておりますので、あらためて次の事項にご留意いただき火災予防を心がけてください。

事業者の皆様へ

(1) 火気・電気の確認、放火防止の徹底

- ア 当分の間、不在となる場合は、ガスの元栓を閉鎖し、使用していない電気製品の電源プラグを抜くなど、適正な管理を徹底してください。
- イ 出入口等の施錠を確実にを行うとともに、建物の周囲に可燃物を放置しないなど放火防止対策を徹底してください。



(2) 防火管理の徹底

- ア 在宅勤務等により、防火管理者や火元責任者が不在となることが想定されますので、不在時における防火管理体制について周知徹底してください。
- イ 従来の自衛消防訓練の実施が難しい場合は、消火器の使い方の確認や119番通報要領の確認といった少人数でも行える部分的な訓練を実施してください。

ご家庭の皆様へ

○ 火気の手扱いについて

- ア ご家庭で過ごす時間が増え、コンロ等の火気を使用する機会が多くなりますので、火気周りの整理整頓を徹底してください。
- イ やむを得ず子供のみで火気使用器具を取り扱う場合は、事前に器具の点検を実施し、安全な使用方法についてご家族で確認しておきましょう。



※ 消毒用アルコールは、非常に引火しやすいので、十分注意してください。

[消毒用アルコールの安全な取扱いについてはこちら](#)

